

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

公開講座「安全のための知識と技術」のご案内

登山者や自然愛好者の安全教育へ向けての小事
百万人の心と自然
安全のための知識と技術
in Matsumoto
公開講座
夏山シーズン到来! 直前の準備に役立てよう!!



■主催：社団法人日本山岳ガイド協会 会期：2011年6月30日(木) 18:30～20:30(受付開始)
 ■協賛：長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会
 ■協賛：長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会、長野県山岳ガイド協会

日時 / 2011年6月30日(木) 18:30～20:30(受付開始)

場所 / Mウイング 松本市中央公民館 〒390-2811 松本市中央1-18-1 Mウイング

定員 / 先着360名様 (もちろん山に役立つアイテムをプレゼント)

参加無料!!
(要申し込み)

講座内容 ※本日の公開講座は6月4日に開催予定の講座と同様にいたします。

1. 夏山の体温管理
講師 / 元富士登山部顧問・区長 金田正樹氏
2. 長野県の山岳遭難救助体制と近年の発生状況
講師 / 長野県山岳ガイド協会 宮崎茂男氏
3. 夏山を目指して登山のための運動生理学を学ぼう
講師 / 山本正嘉先生(元山岳ガイド協会) 山本正嘉氏

要項説明

本講座は、山岳ガイド協会が主催するもので、登山者や自然愛好者の安全教育を目的としています。参加費は無料ですが、申し込みが必要です。

申し込み先

〒390-2811 松本市中央1-18-1 Mウイング
信濃毎日新聞社4F 松本市中央1-18-1 Mウイング
TEL.0263-25-1153 FAX.0263-26-8730

お問い合わせ

TEL.0263-25-1153 FAX.0263-34-1543

最近では、一昨年の北海道大雪山系で起きた事故の原因を究明するために日本山岳ガイド協会が設置した「トムラウシ事故調査特別委員会」のメンバーとして具体的な提言をまとめておられます。お二人ともこれまで直接お会いしてお話を伺ったことが何回かありますが、いつお会いしても同じ山仲間として示唆的なお話を伺うことができました。夏山シーズン前に、県警山岳救助隊隊長の宮崎さんのお話と合わせ、貴重なお話を聞ける機会かと思えます。

ご都合をつけて参加されてはいかがでしょうか？詳細はチラシをご覧くださいのですが、先着360名、参加費は無料です。ただし、聴講するには事前申し込みが必要です。聴講ご希望の方は、はがきかファックスで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数を明記し、信濃毎日新聞松本本社広告部への申し込みが必要です。

私ごとですが・・・遠征における秘読みです

今夏の崑崙山脈アクサイ山群主峰ヤズィックアグル峰（未踏・6770m）遠征の準備が大詰めになってきた。隊のメンバーも固まり、5月30日にカシュガルに向けて、およそ220kgの隊荷を発送した。昨年久根さんと小生の二人で組織した偵察隊は、大雨の影響で期待通りの成果を上げることは叶わなかった。また、今年の3月には世界観が変わるような大災害を経験し、3ヶ月たった今なお多くの方が、不自由な生活を強いられており、復興の目処も立っていない。そんな中ではあるが、いやそんな中だからこそ、信高山岳会の原点でもある「高校生に夢を！」語れるようないい登山をしてきたいと思う。県、県教委、県体協、県高体連、県山協、信濃毎日新聞社、NBS長野放送など関係の多くの方々の後援、協賛もいただいた。

出発は7月16日、それまでに隊としては富士山での高所順応を重ね、万全を期すつもりである。隊は松田大（松本県ヶ丘高校）氏を隊長に、隊員として久根敏（高遠高校）、山内一成（大町北高OB/大町山の会）、三戸呂拓也（大町高OB/明治大学炉辺会）、佐藤勝（信濃毎日新聞社）に小生（秘書長兼登攀担当）を加えた6名である。以下は、計画書の冒頭に挙げたこの遠征隊の趣旨である。ぜひ多くの皆様のご支援をお願いします。

遠征隊の趣意

30年前の1981年、県下の高校山岳部の顧問たちが集まり、信濃高等学校教職員山岳会（信高山岳会）が誕生しました。それ以来、信高山岳会は、生徒とともに安全で楽しい登山を楽しむための、技術向上と顧問の交流、生徒の育成を主眼に活動してきました。

とりわけ「高校生に夢を」と1988年から6次にわたり実施した「長野県高校生訪中登山交流会」では、のべ100人を越える高校生とともに中国を訪れ、5000m級の峰に登り同時に文化交流もし、夢をもつことの素晴らしさを共有してきました。「山や自然」というフィールドは、高山植物の可憐さにそっと足をとめ、足元の雲海に素材に感動する生徒を育ててくれます。そしてそこには、教師と生徒という枠を越えた人間同士の世界で、何のてらいもなく、夢を語り合える世界があります。

1991年から2001年には、「はばたけ我が夢」をテーマに崑崙山脈の未踏峰カシタシ主峰（6691m）へ遠征しました。一度は失敗しながらも、3年越しで登頂に成功したこの登山活動は、高校生に夢をもつことの素晴らしさを伝えることができたと自負しています。

会の創立30周年ならびに長野県山岳協会50周年の節目の年にあたる今年、私たちは「高校生に夢を」という信高山岳会の原点に立って、西部崑崙山域に気高くそびえる未踏のアクサイ山群主峰ヤズィックアグル峰（6691m）に、挑戦することを決意しました。この山域は住む人もなく、手つかずの自然が残っています。隊員は会長の松田大を隊長とし、かつての教え子や長山協の仲間も含む6人で組織しました。登山隊は7月16日に日本を出発し、8月20日までの日程で、初登頂を目指します。

この遠征を通じ、私たち自身が夢を育み、夢に挑み、得たものを、今後の高校登山の活動に反映させ、さらに多くの子もたちに夢を語り続けます。ぜひ多くのみなさんのご支援をお願いいたします。

目標

中国新疆維吾爾自治區崑崙山脈阿克沙衣山群牙孜克艾格爾峰（6770m）への初登頂